



良き人を演じる悪魔

- タバコ産業のSDGs -

来馬 明規 (くるま あきのり)

高岩寺住職・日本禁煙学会役員



略歴 1987年日本医大卒。東京医歯大・米国エモリー大・東大医科研・理化研を経て2005年現職。2021年東北福祉大客員教授 総合内科 循環器 禁煙指導専門医 医学博士
日本禁煙学会監事 日本医大・東京消防庁 救急救命法指導員。共著に『祖師に学ぶ禁煙の教え』。

1. SDGsはさらなるタバコ規制を求めています

国連総会で2015年に採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)は、加盟193ヶ国に課せられた17の目標です。SDGs目標3.a項には2005年に発効された「タバコの規制に関する世界保健機関枠組条約」(FCTC)のさらなる強化が明記され、「タバコのない社会」の実現はSDGsの理念に100%合致します。一方、タバコ製品の製造・消費は、以下の通りSDGs全17項目を妨害しています。それでもSDGs貢献を擬装するタバコ産業は、まるで善人を演じる悪魔のようです。

2. タバコ製品の製造 販売はSDGsの開発目標17項目のすべてを妨害しています(資料)

タバコは(3)喫煙者・受動喫煙被害者の早死 超過死亡 医療費の増大と非効率化を通して医療と福祉を破壊します。新型コロナの流行にも悪影響を及ぼしています。子どものタバコ製品誤飲や葉タバコ農家の緑タバコ病(職業性ニコチン中毒)も隠ぺいされた健康被害です。しかし問題は健康に限りません。葉タバコ生産国、タバコ製品消費国の(1)貧困(2)飢餓(4)教育(8)経済成長(10)国家間不平等を悪化させる要因です。喫煙率の格差は(5)ジェンダー不平等、受動喫煙被害吸い殻のゴミ問題・失火による火災は(11)街づくりの課題です。(12)製造消費:タバコは持続が不可能な工業製品です。(6)水資源(7)エネルギー(13)気候変動(14)(15)海と陸の環境:葉タバコ農園の化学肥料・農薬過剰使用が水・土壌汚染に、吸い殻の投棄が海洋汚染、マイクロプラスチックに、そして葉タバコ乾燥の燃料調達による森林伐採が自然破壊と気候変動に関連します。(9)産業と技術革新(10)平等(16)平和・公正:タバコ産業が葉タバコ生産国で労働搾取、小児労働(右上写真)、緑タバコ病のまん延を放置し、経済的な植民地状態を存続させ、経済発展を妨害しています。そこで、(17)国際的協調によって各国のタバコ税をさらに強化する必要があります。

3. SDGsの弱点を突くタバコ産業

タバコ産業はFCTC第13条で「宣伝広告・社会貢献が禁止」された非正規団体なのに、SDGsの実践を見せびらかしながら「持続可能なニコチンビジネス(SNBs)」!を正当化しようとしています。このような擬装の手法は「SDGsウォッシュ」と呼ばれており、(1)善行を主張し悪行を隠す(2)不正確な情報を曖昧に示す(3)無関係な事実を喧伝する(4)第三者の認定を主張する、などが特徴です。タバコ産業のSDGs参画は、反タバコ団体が提唱してきた「分煙」「スモークフリー」の乗っ取りや、「タバコを吸う吸わないは多様性」「拾えば街が好きになる」などの狡猾なタバコ広告の延長線上にあり、「暴力団の資金洗浄」「麻薬密売組織の社会貢献」と同様に違法です。SDGsはペナルティがないため、そのネームバリューが堂々と悪用されてしまうことが欠点です。

4. タバコの 製造-販売-消費の抑制はSDGsの実践です

タバコは紙巻・新型・電子・加熱・嗅ぎ/無煙、いずれの形態であっても依存性薬物「ニコチン」の補給が目的であり、違法な麻薬・覚せい剤の売買・使用との間に本質的な違いはありません。

タバコの製造-販売-消費は、SDGsが意図する「誰一人取り残さない全員の幸福」と「世界の持続的発展」を妨害します。皆さんの反タバコ活動の積み重ねが大きくなるとなると、SDGs推進と「タバコのない社会の実現」につながることをころからねがっています。

(資料)日本禁煙学会『SDGsポケットブック』『世界ノータバコデー2022ポスター』<http://www.jstc.or.jp> より入手可能